



## タイク 50 タイク 70

タイク50と70は50%と70%のトリアリルイソシアヌレート(triallylisocyanurate: TAIC)調剤であり、とても微粒子のシリカをキャリアとした粉末状の製品です。

タイクはパーオキサイド加硫における共活性剤として素晴らしい物性、特にとても低い圧縮永久ひずみを老化後やとても極端な条件下で求められる時に特に推奨されます。

タイクは全ての種類の異なるフッ素エラストマー、HNBR、EAM(VAMAC)において効果があると実証されています。又、その他のポリマー、EPDM/EPM、EVA等にも使用出来ます。約24℃というとても低い融点の為、純粋なタイクは室温によって個体/結晶体もしくは液状体をしています。したがってケトリッツの50%、70%製品を使用する事でハンドリングが驚くほど改善されます。その上、分散性についても液状製品と比較して粉末形状の調剤の方がより良い結果を示しています。

低温において(10℃以下)製品は結晶化する傾向があります。そして貯蔵状態によって(温度・時間)タイク、特にタイク70、の凝集状態は変化し、粉の固化につながります。これは機械にかける事で簡単に自由に流動する粉状に戻ります。ミキシングなどの加工工程においてとても低い融点に到達すると凝集はすぐに分解されます。結果として分散の問題は起こらないと考えられ、凝集が起こったとしても製品の品質に悪い影響は与えません。

製品の形状を維持する為に我々はタイク50とタイク70を10-20℃の間、よく換気された、日光の遮断された場所に保管する事を推奨します。パーオキサイドと共活性剤の添加量として我々は活性成分100%をベースとして約2:1(パーオキサイド:タイク50 もしくは 70)を推奨します。

### 物理的特性

化学的特性	:	トリアリルイソシアヌレート(triallylisocyanurate)	
		50%もしくは70%とキャリア	
外見	:	白色、粉状、自由流動	
密度 (20℃)	(g/cm <sup>3</sup> )	タイク 50	約 1.48
		タイク 70	約 1.36
灰分	:	タイク 50	46.5 ± 2.0
		タイク 70	27.5 ± 2.5
かさ比重	(g/cm <sup>3</sup> )	タイク 50	約 0.5
		タイク 70	約 0.7
貯蔵安定性	:	適切な貯蔵条件下で3年	
梱包	:	15kg/カートン (PE内袋入り)	